

養蚕法も考慮すべきであらう。

本研究には九大農学部林及び吉野正二、高木毅両氏の御助力と文部省科学研究費の御援助を得た。ここに深謝の意を表する。

熊本地方に於ける「マツノコバイシバイ」 の生活史について

林業試験場熊本試験場 小田久五
岩崎厚

本害虫は昭和の初期より各地の松の幼令林にその被害の発生を認めたが、数年前より西日本各地に被害が発生し、一般の注目を引くに至っている。

熊本支庁保護研究室では本害虫の被害発生に鑑み、特に本害虫の被害により被害せる松林に、松芽又は類(所謂松喰虫)の被害を二次的に見る点、即ち松喰虫の被害を誘引する点で、本害虫に対する調査研究の必要を感じ、昭和25年10月以降、主として、熊本縣佐賀郡高橋村の村有林に於て調査を実施して来た。同林分は面積4町歩強、7、8年生の赤松を主とする林地で、数年前より本害虫の発生を認、一昨年から被害は全林分に及んでいる。本害虫の被害が松幼令木の生長に及ぼす影響の調査を主目的としているが、本害虫の生活史を明らかにすることが必要なので、その概要を掴むことに努力した結果、略その概要を明らかにすることが出来た。以下簡単に生活史の概要を説明する。

成虫の羽化発生期間は松の新葉の伸びと密接な関係あり、本地方に於ては、4月下旬より6月上旬なり、産卵期間も同期間なり、1日に於ける成虫の羽化発生時間は16時より19時の間、産卵活動時刻は17時より21時の間で、19時より26時の間の薄暮の辰を最盛時間とする。

0.5~2.0cmと伸長せる針葉の二葉の合せ目に成虫により産卵された卵は約1週間で孵化し、これら幼虫は二葉の合せ目に沿うて、針葉の基部に至り、組織内を食害するため、この部分に虫癭が形成される。このため被害葉は着しく生長を阻害され健全葉の3分/10で生長は停止する。被害葉は虫癭の部分か褐色に及する以外は緑色を保って夏を過すか11月以降1月にかけて褐色に及じ、翌春2月より4月の間に、その大半は地上に脱落する。このため甚しく被害を受けた松では針葉の大半を半う。

幼虫は5月より10月の間虫癭内で生育し、老熟幼虫となると、11月より1月にかけて地上に落下し、土中2.0cm内外の深さまで越冬し、翌春4月より化蛹し、4月下旬より成虫となり、その年伸長せる針葉に産卵する。

成虫1ヶ所の産卵数は平均5~6卵、産卵数は平均110卵、雌成虫の各個体の産卵日数は1~2日で、1虫体内の幼虫は10月下旬幼虫は繁せる時期に於て、平均4~5頭なり。

枝 切 に つ い て

大分縣議 青木 繁

一 日本再建のため、林業の諸問題が大きく取扱われるに至つたことは当然である。而て森林の復興は森林の造成増殖と技術の改善普及を意味する。この意味で、私は田舎の一本業者の実際の立場から林学者、技術者の皆さんに御研究を御願ひしたのでこの問題を提起した。

二 杉、松等用材の造林目的は優良材を最多量に生産収穫するにある。(こゝでは広葉樹には入れない)而して優良材とは、外観的には通直無節、完満で、内質的には年輪の切の均一、病虫害に侵されてをらぬこと、色沢のよいことなどを主要条件としているが、内質的諸条件は主に間伐、病虫害防除、苗選の選定などによつて概して解決され、外観的條件のうち、通直の問題は本来これらの樹種は幹幹適直性をもつてをるので問題は主として無節完満の二点に存するのである。

三 然るに最も重要なこの無節完満の問題の解決のカギは、適正な枝切技術を施行するかどうかにかゝつてをるのにも拘らず、実際には殆んど之を理解してをらぬため放任の現状にある。私の郷里国東地方では一般に枝打をすれば節材になる」とか「生長がおとろえる」とかいうが、縣下各地でも同様で、枝打技術の普及徹底されをらぬことは遺憾である。このことは、体力増強を叫ばれてをるわが國の現状からして看過出来ぬ問題なので、これに對して私の実地についての調査調査を基として報告し、いさゝかたりともこの技術の研究と普及の資に供したい。

四 まづ私は、林業用語として濫用してをる「枝打」を次の理由で「枝切」に改めることを提議したい。

辞書類によると、打つは「たたく」「ぶつ」の意で、例えは肩をたたく、釘を打ち込む又証するの意で「打倒」の如き又前者の意もあるが、それには「切」が適切である。切は「たつ」「つく」「はなす」及物にて断つ」の意で、従つてまた動作の上で打つは切るよりも甚だしく粗暴な感じを与えてをる。枝切の技術はあく迄丁寧であるべきである。

五、枝は腋芽の中軸節を生長したもので枝切は11ではおけば幹の肥大生長にともなつて幹材に巻き込まれるのであるから、製材によつて製材面には節として更われるのである。

総じて耐蝕性が強いので普通の高産、町当2000本程度設の幼令一斉林分では、枝切を施さない限り、枝節は枯死し且いのが普通で、従つて製材面には生節の多い不良材たるを認め